

播磨小学校の今

播磨小学校の教育（令和5年度、教育充実計画より）

教育環境

本町は、古くは農業・漁業が中心であったが、近代工業の発達と交通の便利さから、急激に人口が増加し、都市化が進展してきた。そのため、明治5年に創設されて以来昭和48年まで1町1小学校であった本町は、現在、播磨小学校、蓮池小学校、播磨西小学校、播磨南小学校の4校に分離している。

本校は、本町の中心部に位置する学校で、学校周辺には、町役場をはじめ、中央公民館、図書館、福祉会館、健康いきいきセンター、子育て学習センター等、官公庁や福祉施設等が集中しており、恵まれた教育環境にある。

また、本校は、150年の歴史を刻む伝統ある学校で、地域住民にとっては、「わが母校」という意識も強く、学校に対しても協力的である。保護者も、学校教育への関心や理解があり、PTA活動も熱心で、教職員と連携しながら活発な研修や事業を展開している。

このような教育環境を生かし、本校のすばらしい伝統を大切にするとともに、子どもたちが夢や希望を持ち、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」等を備えた「知・徳・体の調和のとれた人間」に成長することを願いながら、活力に満ちた魅力ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりに努めている。

本校の教育充実計画

～自律・協働 みんなの笑顔のために～

1 学校教育目標 「知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

2 基本方針 「学び 認め合える 子どもたちに」

3 めざす子ども像

(1) 意欲的に学び協働できる子【**確かな学力**】

- ・基礎・基本を身につけ自ら判断し学ぼうとする子
- ・自分の考えや思いを表現できる子
- ・意見を交流させ、共に学びを探求する子

(2) 思いやりのある子【**豊かな心**】

- ・自分の良さに気づき、伸ばそうとする子
- ・お互いの違いや良さを認め合える子
- ・あいさつなどのコミュニケーションをすすんでできる子

(3) 元気よくやりぬく子【**健やかな体**】

- ・命を大切にし、健康・安全にすごせる子

にこにこ	えがお
はきはき	へんじ
どんどん	やろう
はりまっ子	

- ・基礎的な体力を身につける子
- ・規則正しく生活できる子
- ・最後までやりぬく子

めざす教師像

- (1) 子どもに向き合い教育者としての使命感、子どもの成長・発達について深い理解と教育的愛情をもって指導にあたる教師。
- (2) 子どもの悩みや保護者、地域の相談に誠意をもって対応する教師。
- (3) 教育的課題にチームとして迅速に対応し、認め合い、支え合う教職員集団。

4 本年度の重点目標

- (1) 自分も友だちも尊重できる心を育むとともに、自ら考え判断し決定したことを行動できる力を重視し、仲間とともに学びを探究する力を育成する。
- (2) 社会的、地域的に意味のある課題を仲間と協働しながら課題解決をめざす授業を、実態に応じた授業実践・深める授業づくりの工夫を図り、教職員の指導導力の向上をめざす。
- (3) 対話を重視し児童理解に努め、豊かな心を育む教育の充実を図る。
- (4) 子どもたち一人ひとりに応じた支援を行い、家庭・医療・福祉・行政等との連携を図りながら、切れ目のない支援・特別支援教育の充実を推進する。
- (5) 地域とともにある学校づくりを推進し、地域に信頼される学校づくりをめざす。

5 達成のための取組

- (1) 自分も友だちも尊重できる心を育むとともに、自ら考え判断し決定・行動する力を重視し、仲間と共に学びを探究する力を育成する。
 - 自分を大切にするとともに、友だちを自分と同じように尊重できる心を育む。
 - 自尊感情を高め、必要とされる自分を意識し、社会の中で活躍しようとする態度を育てる。
 - 自分や友だちとの「対話」による道徳科の授業を推進し、自分の生き方についての考えを深める。
 - 「ことばの力」を高める活動を取り入れ、伝え合い学び合える場の充実を図る。
 - 多様な価値観を理解し、多様性を認め合える教育を推進する。
 - ユニバーサルデザインの視点をから、わかりやすく落ち着いた教室環境を整える。
 - ICT機器、デジタルコンテンツを活用した「わかる授業」づくりを行うとともにプログラミング学習をとおして、論理的な思考を培う。
 - 朝の学習時間を活用して、学習の基礎基本の定着を図る。
 - 総合的な学習時間を中心に教科横断的にすすめることで、探究する力を育成する。
 - 学ぶ力の基礎となる、健康維持と体力向上を図る。

(2) 社会的、地域的に意味のある課題を仲間と協働しながら課題解決をめざす授業を中心に、実態に応じた授業実践・深める授業づくりの工夫を図り、教職員の指導力の向上を図る。

○教職員研修を充実し、指導力と授業力を高める。

○目標達成に向けた取り組みの具体

- ・ 1時間の授業の流れを確立する。
- ・ 興味関心のある学習課題を提示し、一様な成果を求める学習から脱却する。
- ・ 教職員の共通理解の元、教科の特性を考えた単元構成を工夫する。
- ・ 授業公開等、教職員の学び合いの場を充実させ、相互に研究を深め、授業力の向上を図る。
- ・ 子どもたちの実態を把握し、授業研究を推進する。

○児童理解に努め、豊かな心を育む教育の充実を図る。

○対話を中心に全ての児童が安心して通うことのできる学校・学級づくりをめざす。

○児童の内面理解に努め、カウンセリングマインドを持って接し、いじめ・問題行動等の解消に向けて、全職員でチームとして積極的に取り組む。

○教育委員会を含む行政・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや福祉医療関係機関等と連携し、心に問題を抱える子や親への適切な対応に努める。

(4) 子どもたち一人ひとりに応じた支援を行い、家庭・医療・福祉・行政等との連携を図りながら、切れ目のない支援・特別支援教育の充実を推進する。

○一人ひとりの実態を把握し、教育的ニーズに応じた適切な支援を行う。

○インクルーシブ教育システムを構築し、障害の有無にかかわらず、ともに学べる教育環境づくりに取り組む。

○家庭・医療・福祉等との連携を図り、切れ目のない支援体制を充実する。

○個別の指導計画及び個別の教育支援計画を活用するとともに、校内委員会等で見直しなどにより、全教職員の共通理解のもと、チームとして児童にかかわる。

○不登校やいじめ等の問題解決に関連機関と連携を密にし、協力体制を構築する。

(5) 地域とともにある学校づくりを推進し、地域に信頼される学校づくりをめざす。

○日常の保護者とのコミュニケーションを通して、保護者と信頼関係を築く。

○定期的に学校の教育活動の公開と情報の発信に務める。今年度も、感染拡大予防対策を講じた上で、学校だより・学年だより・ホームページ等により教育活動を公開する。社会状況に応じて保護者や地域の方々が参加の場を設定する。

○保護者が安心して児童を送り出せる学校、地域に愛される学校づくりをめざす。

○家庭・地域・関係機関との連携を強化し、組織としての防災・防犯等の危機管理能力の向上に努める。

学校の1年（年間行事予定より）

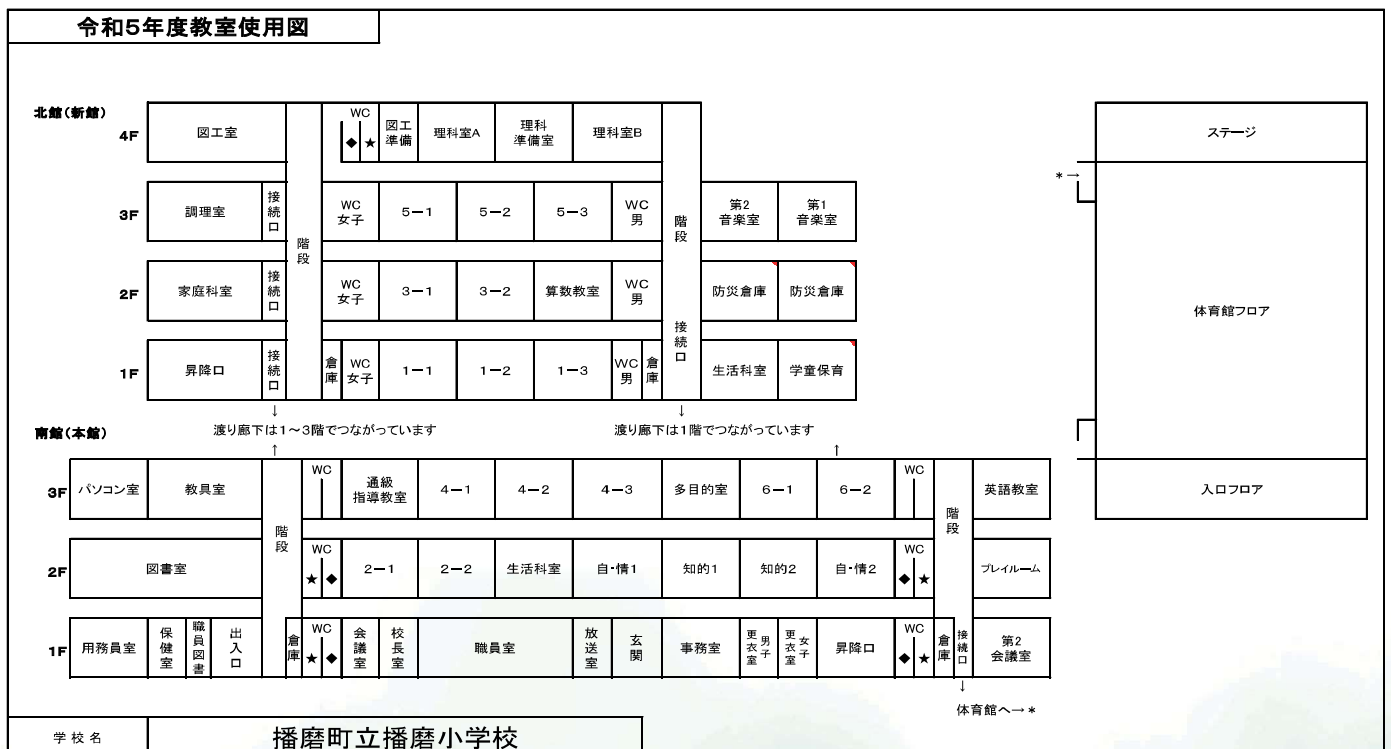
令和5年度 播磨小学校行事予定			
月	日	(曜)	予 定
4	7	(金)	1学期始業式
	11	(火)	2～6年生給食開始 入学式
	17	(月)	1年生給食開始
	20	(木)	～4/25(火) 家庭訪問
	26	(水)	1年通常授業開始
	28	(金)	授業参観日（午前中に1授業を公開）
5	2	(火)	春の校外学習
	17	(水)	引き渡し訓練（5校時終了後）
	31	(水)	交通安全教室（運動場）
6	4	(日)	運動会（午前のみ、給食なし）
	5	(月)	6/4の代休
	16	(金)	芸術鑑賞会（5校時：保護者参加あり）
7	13	(木)	～7/20(木) 個別懇談会
	21	(金)	1学期終業式
8	28	(月)	2学期始業式
	29	(火)	給食開始
9	5	(火)	～9/7(木) 夏休み作品展
10	1	(日)	創立150周年記念式典・座談会（給食なし）
	2	(月)	10/1の代休
	5	(木)	修学旅行（10/6(金)まで）奈良・京都
	13	(金)	秋の校外学習（弁当）1～4年
	27	(金)	自然学校（10/30(月)まで）国立淡路青少年交流の家
11	1	(水)	5年生代休（11/2(木)まで）
	10	(金)	音楽会
12	22	(金)	2学期終業式
1	9	(火)	3学期始業式
	10	(水)	給食開始
2	3	(土)	授業参観オープンスクール（給食なし）・播同協研究大会
	5	(月)	2/3の代休
	16	(金)	新1年生入学説明会
3	19	(火)	給食終了
	21	(木)	卒業式
	22	(金)	修了式

播磨小学校の1日

R5 播磨小学校 時程表

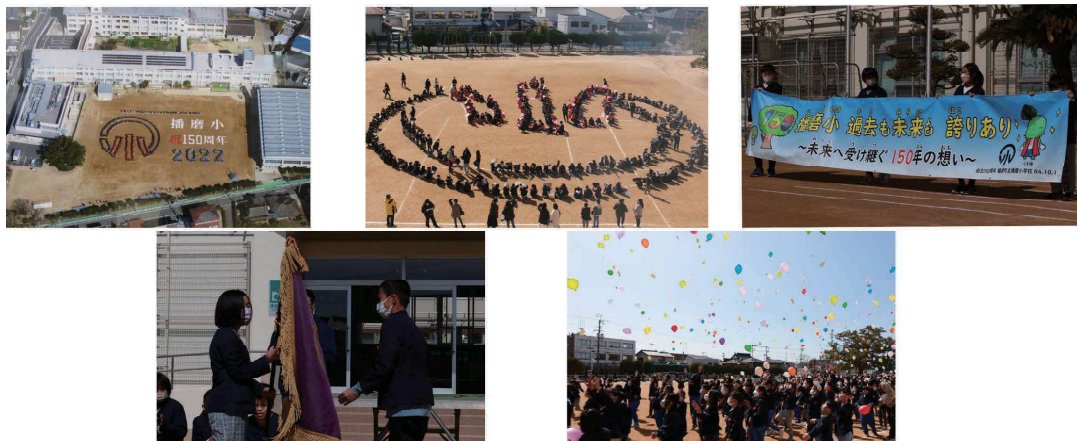
朝学習	8:20	～	8:35				
	読書、漢字、自主学習						
朝の会	8:35	～	8:40				
1	8:45	～	9:30				
2	9:35	～	10:20				
業間	10:20	～	10:35				
3	10:40	～	11:25				
4	11:30	～	12:15				
給食	12:15	～	13:00				
昼休み	13:00	～	13:20				
月・火・木・金				水			
掃除	13:25	～	13:40	かんたん掃除	13:05	～	13:10
5	13:45	～	14:30	5	13:15	～	14:00
6	14:35	～	15:20	帰りの会	14:00	～	14:10
帰りの会	15:20	～	15:30	完全下校			14:20
完全下校	15:40			ワーク	14:15	～	15:00
				完全下校			15:10

学校の平面図



150周年記念式典

令和4年度、本校は創立150周年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症流行によるコロナ禍で式典の実施が難しい状況でした。同3月に子どもたちと創立記念行事の一環として、航空写真撮影や播磨小学校のマスコットキャラクター、シンボル画が選定され、未来への希望のつまった横断幕を当時の6年生から5年生へ引き継ぐ会を行い、その際に「バルーンリリース」で子どもたちの想いを飛ばしました。うれしいことに、遠く三重県からお返事もいただきました。



令和5年、5月より新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことから、創立150周年記念式典の開催を創立記念日に行うことを実行委員会で協議し、多くの方々の後押しで創立記念日の10月1日（日）開催の運びとなりました。多くの方々にはご心配をおかけしましたが、式典だけでなく地域の方々にも参加していただき、コロナ禍で結びつきが薄れていた地域参加の行事になるように計画しました。広報はりまやコミセン便りも活用し、当日は多くの方々の参加を得ました。また、歴代の校長先生方や町長、教育長、町教委や行政の方々も参列していただき、全校生と式典参加者などで校歌を斉唱することもできました。

【記念式典】

日時：10月1日（日）

場所：播磨町立播磨小学校 体育館（式典会場）

式典：2部形式

- ・オープニング「スライドショー」過去の映像等
- ・式典（式辞、祝辞、来賓紹介、「校歌」斉唱 等）
 - ・講演会 日本郵政 大西ひかり選手（卒業生）ビデオメッセージ、在校生からの作文等
- ・地域の方との懇談会（各学年のテーマにそって地域の方との懇談）



第2部の懇談会では、1年生が「昔あそび」2年生が「野菜作り」3年生が「播磨の歴史」4年生が「播磨町のまつり」5年生が「防災」そして、6年生が「播磨町の課題」くすのき・みどり学級が「スポーツ」をテーマとして、子どもたち自ら調べて意見を持ち、地域の方々に教えていただいたり、体験させていただいたりしながら、交流する学習を計画しました。学びを深めていく中で、地域への愛着や人との繋がり大切さを意識していけると期待しています。ぜひ、今後ともご支援ください。多くの方々に播磨小学校のサポーターになっていただきたいです。

地域の方との座談会（1年～6年、くすのき・みどり学級）



150周年 地域を挙げお祝い
播磨小 感謝つづったカードで装飾

播磨町宮北1の播磨小学校、町制施行で播磨小となった。創立150周年を祝った。昨年150周年を迎え、式典が開かれた。地域住民も出席し、まちぐるみで学校に感謝を述べた。同校は、2022年（明治5年）に大原小、本荘小として創立。その後、合併や改称を重ね、1960年の町制施行で播磨小となった。式典は、1日に実施。同校出身、杭州アジア大会の活躍が話題となった。地域の住民と一緒に150周年を祝った。播磨小の児童たちも播磨町宮北1

BAN-BAN
 奥上りの目と23 Tich
 ◇ニュースミーツ地域ニュース
 ◇播磨小学校150周年記念式典
 ◇米田小学校のアクセスほか
 ☎079-421-3736

R.5.10.11(水)
 神戸新聞(東播)

カードで装飾された。150周年の記念式典で、児童たちが地域の方々に感謝の気持ちを伝えるためのカード作りを行った。カードには、地域の歴史や文化、そして児童たちの思いが込められている。地域の方々は、児童たちの思いに感動し、地域への愛着や人との繋がりの大切さを改めて実感した。また、児童が地域住民と交流する機会もあった。学生ごとに、総合の授業で取り扱った「播磨町の課題」「地域の防災」「地元の祭り」などのテーマを基に、住民らと質問して学びを深めていた。(児玉美奈)

PTA 活動について

令和5年度

スローガン

子どもたちの健やかな成長を願って

～先生、保護者、地域の結びつきを大切に～

令和5年度も PTA として子どもたちの健やかな成長を支援し、先生方や保護者の皆様とともに協力し合い、地域への結びつきを強めていきたいと思っております。

子どもたちがどんな時でも安心して、のびのびと過ごすことができる学校・地域となるよう、どんなときでも寄り添い、見守っていきたいと思います。ご協力よろしく申し上げます。

活動目標

- 1) 子供達のがのびのびと過ごす事が出来る環境づくり
 - ・ PTA 会費、アルミ缶回収収益により、子供達の多様な学びの環境作りに努める
 - ・ 登下校、各長期休暇等の見守りを強化し安心・安全な環境作りに努める
 - ・ 制服等のリユース事業に取り組む
- 2) 地域・各団体と連携し町全体での子育て活動
 - ・ 地域活動、奉仕作業等可能な限り参加し、地域との繋がり・連帯を深める

令和5年度 各部事業計画（各部の役割）

総務部

- 1 PTA 行事の取材
- 2 PTA 新聞（くすのき 112・113号）の発行
- 3 150周年記念誌等の検討※PTA 新聞と合算

事業・研修部

- 1 連合 PTA 主催の研修会参加
- 2 播同協 PTA（父母の会）推進委員会の活動
- 3 リユース活動

愛護部

- 1 交通安全教室（1年、3年）の運営協力
- 2 交通安全指導、立哨当番の計画立案
- 3 春、夏、冬休みの巡回補導の計画
※地区 PTA 役員で協力して計画・実施

本部役員・役員全体

- 1 150周年記念事業の協力
- 2 町連 P 親睦体育大会（つなひき大会）の参加
- 3 町連 P 教育講演会の参加
- 4 郡連 P 活動実践発表会の参加
- 5 ボランティア募集

（図書館、花壇、ミシンボランティアなど）